

施工上の注意点

フランジの接合

① ポリエチレン製フランジの場合 (RF形)

呼び径	ボルト締め切りトルク N・m
50	32
75	44
100	54
150	60
200	64

備考：PE 挿し口付フランジ短管を除く。

② GF形フランジ短管の場合 (参考)

呼び径	ボルト締め切りトルク N・m
50~200	60

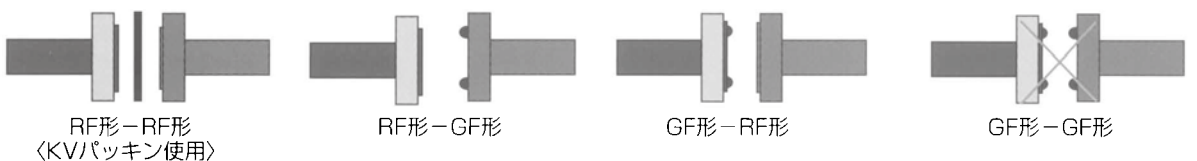
(3) ボルト締め付け時の注意事項

1. ボルトは片締めにならないように、対角線上交互に均等に締め切ってください。また、ボルト締め作業が容易かつ確実にできるように継手掘りを行ってください。
2. ボルト、ナットはフランジ呼び径及び種類に適用した太さ・長さ・本数を準備してください。ボルト本数の省略や長さの不足したボルトの使用は絶対に避けてください。
3. ボルト締めをする前に、パッキンがフランジに対して正常に接触するかどうかを確認してください。軸心がズれて未接触部分があると漏水、ボルト片締めの原因になるので注意してください。
4. GF形フランジはフランジ面同士が接触するまで締めて下さい。

フランジの接合について

フランジ接合を行う場合は、組み合わせに注意してください。

<接合可能な組み合わせ>



<接合できない組み合わせ>

フランジを使用した場合の相手管種によるボルト首下長さ

単位: mm

呼び径	FCDフランジ(水道・JIS 10K形)での接続				PE挿し口付フランジ短管での接続				SUSフランジ(JIS 10K形)での接続		
	鉄管関連製品		鋼管関連製品 (JIS B 2238)	塩ビ管関連製品 (水道形・JIS 10K形)	鉄管関連製品		鋼管関連製品 (JIS B 2238)	塩ビ管関連製品 (水道形・JIS 10K形)	鉄管関連製品	鋼管関連	塩ビ関連製品
	異形管フランジ (水道形・JIS 10K形) 仕切弁 (2種・3種) (JWWA B 120・122)	水道用仕切弁 (JIS B 2062)			異形管フランジ (水道形・JIS 10K形) 仕切弁 (2種・3種) (JWWA B 120・122)	水道用仕切弁 (JIS B 2062)			異形管フランジ (JIS 10K形) 仕切弁 (3種) (JWWA B 120・122)	JIS 10K形 (JIS B 2238)	JIS 10K形
50	70	70	70	70	65	70	—	75	80	80	80
75	80	80	75	80	70	75	70	75	90	80	90
100	90	90	80	90	70	75	75	80	100	90	100
150	90	100	100	100	75	75	80	80	110	110	110
200	100	100	100	100	80	80	80	85	110	110	115

上表の数値はフランジ2枚、ナット、座金2枚、パッキン(ガスケット)の厚みを足しあわせたものに余裕をみて算出したボルト首下長さです。必要に応じて適切な長さのボルトをご使用ください。

埋設

- ① 管の周囲は砂基礎とし、掘削溝底から管底までを10cm以上、管頂10cm以上まで砂を用いてください。この際、石やまくら木などの固形物が管に直接あたらないようにしてください。
- ② 埋め戻しは、管の施設後、砂又は良質土で埋め戻し、その都度、管に充分なじませながらランマやたこで突き固め管の上面10cm位になるまで行ってください。その後埋め戻し土をよく突き堅めながら埋め戻してください。
- ③ 配管の途中でいったん埋め戻す場合には、管内に水や土砂が混入しないよう、管端に仮止めキャップ等を施してください。
- ④ EF片受直管やEF継手の受口部分を融着せずに埋め戻すことは極力避けてください。やむをえず融着前の受口部分を埋め戻す際は、水または土砂が入らないように充分保護をし、埋め戻しの際の過大な力がかからないよう注意してください。

